

オハイオ州フィンドレー大学奨学生レポート

「時は金なり」

こんにちは。時間が経つのはとても早く、こちらへ来て2か月が経とうとしています。先日、最低気温がマイナスを超えました。日本よりも早く、冬が近づいてきています。

さて、今回のレポートのテーマは「時は金なり」、ということで「時」に関する内容にしたいと思います。

1) 私の一週間の過ごし方

まず、私の基本的な一週間の時間の過ごし方をお話ししたいと思います。

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
10:00-10:50	Class (composition)		Class (composition)		Class (composition)	トリド日本人補習校	
11:00-11:50	Class (composition)	Class (reading)	Class (composition)	Class(reading)	Class (composition)		
12:00-12:50							
1:00-1:50	Class (listening)	Class (communication)	Class (listening)	Class (communication)	Class (listening)		
2:00-2:50	Class (grammar)			Class (grammar)			
3:00-3:50							
4:00-4:50				Class (Japanese experience)			

(平日の過ごし方)

今、私は IELP(Intensive English Language Program) という集中英語コースに所属し、英語を主に学んでいます。上の表を見ていただくとわかりやすいと思いますが、月・水・木と火・金がそれぞれ同じ授業となっています。ちなみに IELP だけではなく大学も同じような体制をとっています。二日後には同じ授業が回ってくるため、予習・復習・宿題の面では日本よりもきつく感じる場合があります。しかし、やっところちらの体制にもなれ、復習をより生かして授業を受けることができるようになりました。

木曜日の Japanese experience だけが週に一度の特別授業です。この授業は、フィンドレー大学に来ている日本人留学生(international student)と日本語学科のアメリカ人学生(domestic student)が受講可能であり、互いの文化を理解すること・友人を作ることを最大の目的とした授業です。毎回の授業ごとに異なるテーマがあり、そのテーマに基づいたディスカスやグループワークをする、能動的な授業です。最近のグループワークでは、グループ内で自身の国の料理を振る舞いました。私のグループ(アメリカ人と日本人それぞれ2人ずつ



の計4人グループ)では日本人はお好み焼き、アメリカ人はクッキーとキッシュを作りました。もちろん、おいしかったです。一番印象に残ったことは料理中の何気ない会話です。簡単な会話だったと思いますが、頭で考えてから喋るのではなく、口から自然に言葉が紡ぎだされていくことに感激しました。

(休日の過ごし方)

次は休日の過ごし方を紹介したいと思います。

・土曜日

土曜日は、「トリド日本人補修校」にて教員として勤務することになりました。ここは日本人駐在員の子供のための学校です。彼らは平日、アメリカ人の子供と同じように現地校に通っています。しかし、彼ら日本人の9割以上がいつか日本に帰国することが前提にあります。彼らが帰国した際、日本の学校に戸惑いを感じるものがなく、溶け込めるでしょうか。答えはNOです。まず、勉強の

やり方・内容が大きく異なります。そして異文化。日本へ帰国した際、少しでも子供たちの負担が減るようにサポートをする場所が、トリド日本人補習校です。私も、今月からその一員となりました。

・日曜日

日曜日は現在、唯一のフリーとなっています。なので、日曜日は遊びを楽しむ一日としています。先日はアメリカ人2人、中国人4人そして私の計7人でピクニックへ行きました。

とても充実している私の一週間の様子が伝わったでしょうか。しかし、これが基本編であるということをお忘れにならないください。



先日のピクニックの様子です

2) プラスアルファのイベント

不定期ですが放課後にはクラブ活動や学生団体のイベントなどがたくさんあります。基本的に私はイベントには可能な限り参加するスタンスです。限られた大切な時間、貪欲に多くのことを経験したいと思っています。今回は、最近参加した「game night」を紹介したいと思います。これは大学の国際課主催のイベントです。

フリーフードを食べながら(こちらでのイベントでは必ずピザやジュースが出されます)、チームごとにゲームを楽しむというイベントでした。私のチームはアメリカの女の子だったら誰でも知っている

「candy game」という日本でいう人生ゲームのようなものと日本のトランプゲーム、神経衰弱をやりました。このようなイベントを通じ、さまざまな国から来た留学生、そしてアメリカ人の大学生と友人になることができました。ここからの課題は、どのように、この関係を続けていくか・私個人に興味を持ってもらい、より親しい友人になれるかだと思っています。



Game night のチラシです。